

# 災害と人間

～核時代の生そして再生を問う～

日時: 2012 3.15 (木) 13:00～17:30

会場: 青山学院大学 青山キャンパス 総合研究所ビル12階大会議室

参加  
無料

事前申込  
不要

## Program

— 開会祈祷 —  
— 挨拶 —

— 第一部 パネリストによる発題 —



安齋 育郎氏

立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長  
立命館大学名誉教授  
「震災と原発—核時代に生きる」



柴田 徹氏

本学名誉教授  
「宇宙・自然史における  
人間と災害—フクシマの教訓」



飯島 渉氏

本学文学部教授  
「歴史と災害—過去と現在の対話」



白石 草氏

非営利メディアOurPlanetTV代表理事  
「原発事故・放射能汚染と市民の  
知る権利—市民メディアの役割」



奥田 知志氏

東八幡キリスト教会牧師  
北九州ホームレス支援機構代表  
「天災・人災と復興—被災地支援  
の活動から見てくるもの」



黒石 いずみ氏

本学総合文化政策学部教授  
「災害に強い社会と都市づくり  
—被災地の経験と今後の課題」

— 第二部 パネルディスカッション —

コーディネーター: 申 恵 子 総合研究所社会科学部部長  
挨拶: 佐藤 泉 総合研究所人文科学研究部長、人権教育委員会委員長

# 災害と人間～核時代の生そして再生を問う～

東日本大震災と福島原子力発電所の爆発は、一つの自然災害がそれにとどまらず別の災害、それも人類が経験したことのない巨大事故につながった「核時代の災害」として世界に大きな衝撃を与えました。狭い国土に原発が乱立する日本で、また同様の核施設をもつ他国で、次のフクシマがいつ発生するかも知れない危険に人間は直面しています。他方で日本の政財界は、収束には程遠い福島原発と避難住民の状況を忘れたかのように、原発の再稼働や海外輸出を進めようとしています。しかし私たちは、核燃料によって支えられた日常生活は核災害という非日常と隣り合わせであり、破局に至るものでしかないことを、この危機から学んだのではないのでしょうか。また、今回の事故では情報公開の遅れが重大な被曝被害をもたらしましたが、私たちがかけがえのない生命と健康を守るために必要な情報を、日本政府やメディアは果たして提供してきたのでしょうか。日本の目指す「復興」は、共に生きる人間の生命を顧み貴ぶ「再生」たりうるのでしょうか。

核時代の災害が、人類と生物の存続を揺るがす危機を引き起こしている今、生の営みであるすべての学問もまたこれに真摯に向き合うことを求められているという観点から、青山学院大学総合研究所では、東日本大震災から1年を迎える機会に、各分野で活躍されている学内外の方々をパネリストにお招きして公開シンポジウムを開催いたします。学生・教職員の皆様、一般市民の皆様など多数の方々のご参加をお待ちしております。

## Program

13:00-13:20

総合司会 小池 和彦 総合研究所自然科学研究部長  
開会祈禱 西谷 幸介 総合研究所キリスト教文化研究部長  
挨拶 本間 照光 総合研究所長  
山北 宣久 本学院長  
仙波 憲一 本学学長

13:20-15:40

### 第一部 パネリストによる発題

安齋 育郎氏 「震災と原発—核時代に生きる」  
柴田 徹氏 「宇宙・自然史における人間と災害—フクシマの教訓」  
飯島 渉氏 「歴史と災害—過去と現在の対話」  
白石 草氏 「原発事故・放射能汚染と市民の知る権利—市民メディアの役割」  
奥田 知志氏 「天災・人災と復興—被災地支援の活動から見てくるもの」  
黒石 いずみ氏 「災害に強い社会と都市づくり—被災地の経験と今後の課題」

16:00-17:30

### 第二部 パネルディスカッション

コーディネーター 申 恵丰 総合研究所社会科学部研究部長  
挨拶 佐藤 泉 総合研究所人文科学研究部長、人権教育委員会委員長

## Access



■ JR山手線、東急線、京王井の頭線「渋谷駅」宮益坂方面の出口より徒歩約10分  
■ 東京メトロ(銀座線・千代田線・半蔵門線)「表参道駅」より徒歩約5分  
※駐車場・駐輪場はございません。

お問合せ 総合研究所 souken@aoyamagakuin.jp TEL.03-5485-0781

## Panelist



あんざい いくろう 立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長  
立命館大学名誉教授

1940年東京生まれ。東京大学工学部原子力工学科卒、工学博士。東京大学医学部助手を経て、1988年立命館大学国際関係学部教授、95年同大学国際平和ミュージアム館長、2008年より名誉館長。著書に「からのなかの放射能」(合同出版)、「食卓の放射能汚染」(同時代社)、「福島原発事故—どうする日本の原発政策」(かもがわ出版)など多数。



しばた とおる 柴田 徹氏 本学名誉教授

早稲田大学理工学部応用物理学科卒業、同大学院理工学研究科応用物理学専攻博士課程修了、理学博士。専門は宇宙線物理、高エネルギー物理。1973年から2010年まで青山学院大学理工学部で教鞭を取り、この間、高山(乗鞍、チャカルタヤ)、大気球(ロシアとの共同研究)による宇宙線観測に従事。現在、青山学院大学名誉教授。



いじま わたる 飯島 渉氏 本学文学部教授

東京学芸大学教育学部社会科卒業、東京大学大学院人文科学研究科東洋史学専攻博士課程単位取得退学、文学博士。現在青山学院大学文学部教授。東アジアを中心に、感染症の流行が社会にどのような影響を及ぼしてきたかを研究。著書に「感染症の中国史」(中公新書)、共著書に「高まる生活リスク—社会保障と医療」(岩波書店)など。



しろはら はじめ 白石 草氏 非常営利メディアOurPlanetTV代表理事

ビデオジャーナリスト、特定非営利活動法人OurPlanet-TV代表理事。早稲田大学卒業後、テレビ朝日系の番組制作会社を経て、1995年東京メトロポリタンテレビジョン(TOKYO MX)入社。2001年に独立し、非常営利のインターネット放送局OurPlanet-TVを設立。現在、一橋大学大学院社会学研究科客員准教授。



おくだ ともし 奥田 知志氏 東八幡キリスト教会牧師  
北九州ホームレス支援機構代表

滋賀県生まれ。関西学院大学神学部大学院修士課程修了。1990年九州大学大学院博士後期課程修了、東八幡キリスト教会牧師に就任。同年、ホームレス支援組織「北九州越冬実行委員会」事務局長、2000年、NPO法人「北九州ホームレス支援機構」理事長。著書に「もう、ひとりりさせない—わが家のにはすみか多し」(いのちのことば社)など。



くろいし いずみ氏 黒石 いずみ氏 本学総合文化政策学部教授

秋田県生まれ。東京大学工学部建築学科卒業、同大学院修士・博士課程修了、一級建築士。米国ペンシルバニア大学芸術学部大学院建築学専攻博士課程修了、建築学博士。現在、青山学院大学総合文化政策学部教授。共著書に「芸術と福祉」「青森県の近代の暮らしを作った人々」など。震災後は東京と東北で様々なボランティア活動に携わる。